

豪雨災害から街を守る！



田んぼダム用排水調整マス



【田んぼダムとは？】

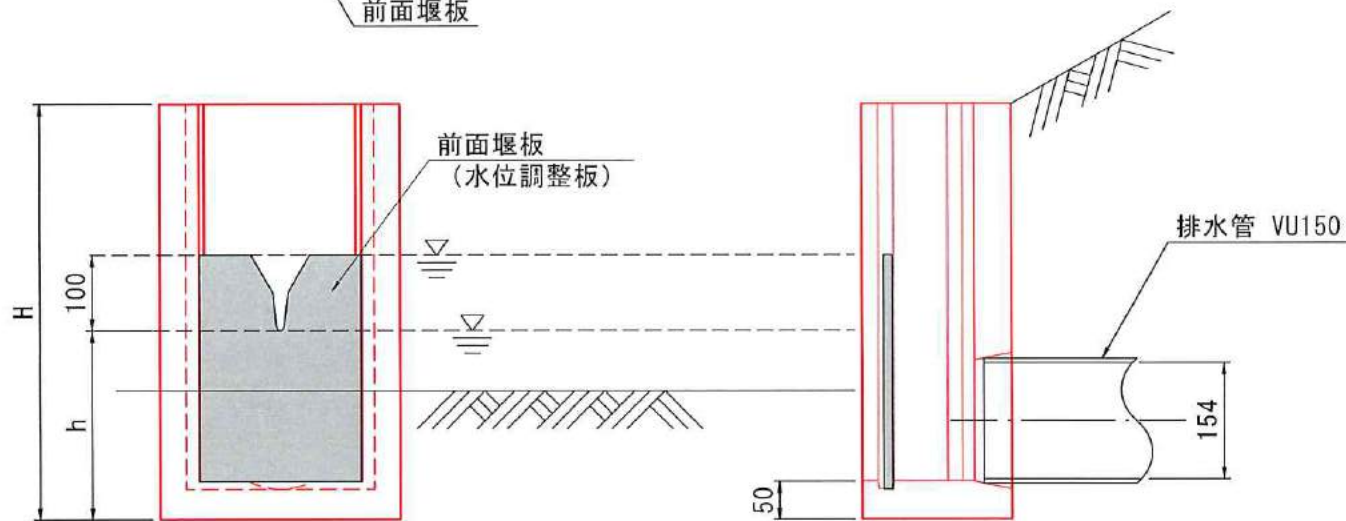
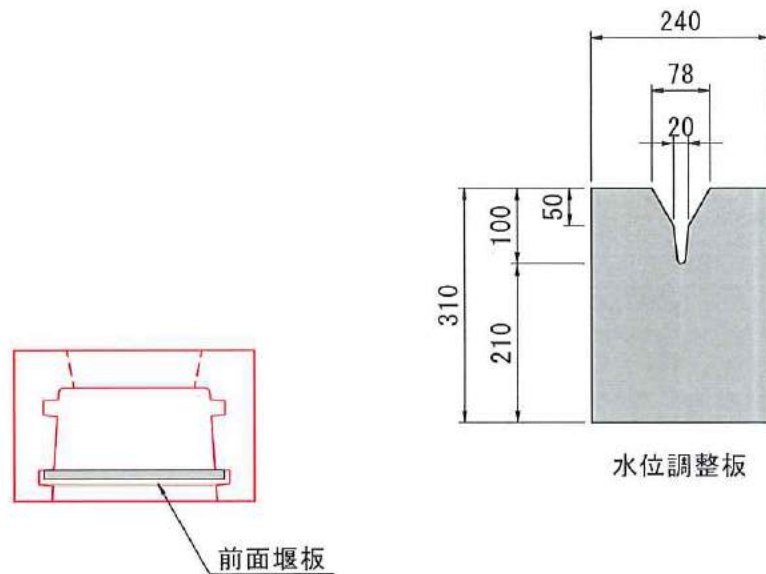
水田が持っている洪水緩和機能を人為的に高めることで大雨が降った時に雨水を水田に一時的に貯留し、水田からのピーク流出量を抑制して田んぼダム下流の農耕地や住宅地の洪水被害を軽減する目的で実施するものである。

【製品の特徴】

- 田んぼダムを構築するために排水調整できるマスです。
- 田んぼの水位は仕切り板を組み替えることで調整できます。
- 仕切り板は長期間使用できる水に強く腐らないNFPボードを使用しています。



〒919-1123 福井県美方郡美浜町久々子54-9
TEL: 0770-32-0239 FAX 0770-32-5784
URL <http://www.kamoco.co.jp>



※堰板は、t=12mm 再生コンクリート型枠NFボード使用

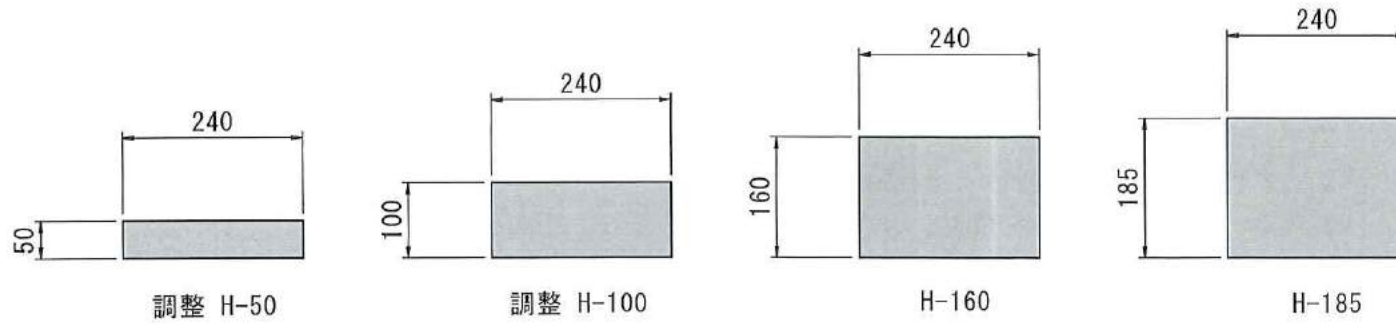
田区排水ブロック

320×200×H

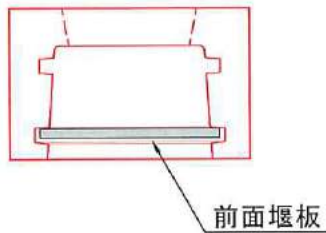
排水量調整堰板取付型 (参考図)

株式会社 カモコン

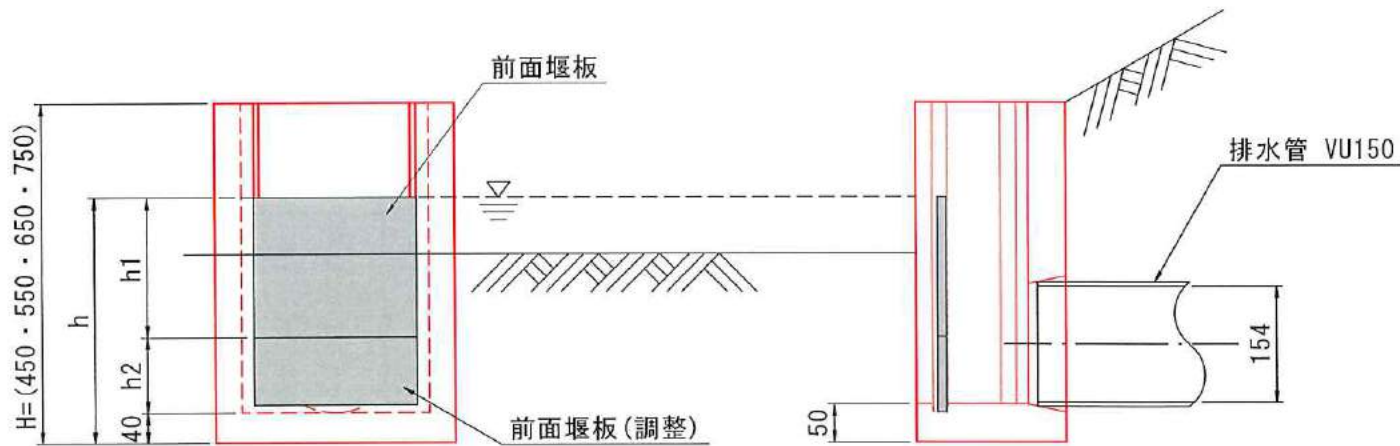
前面堰板

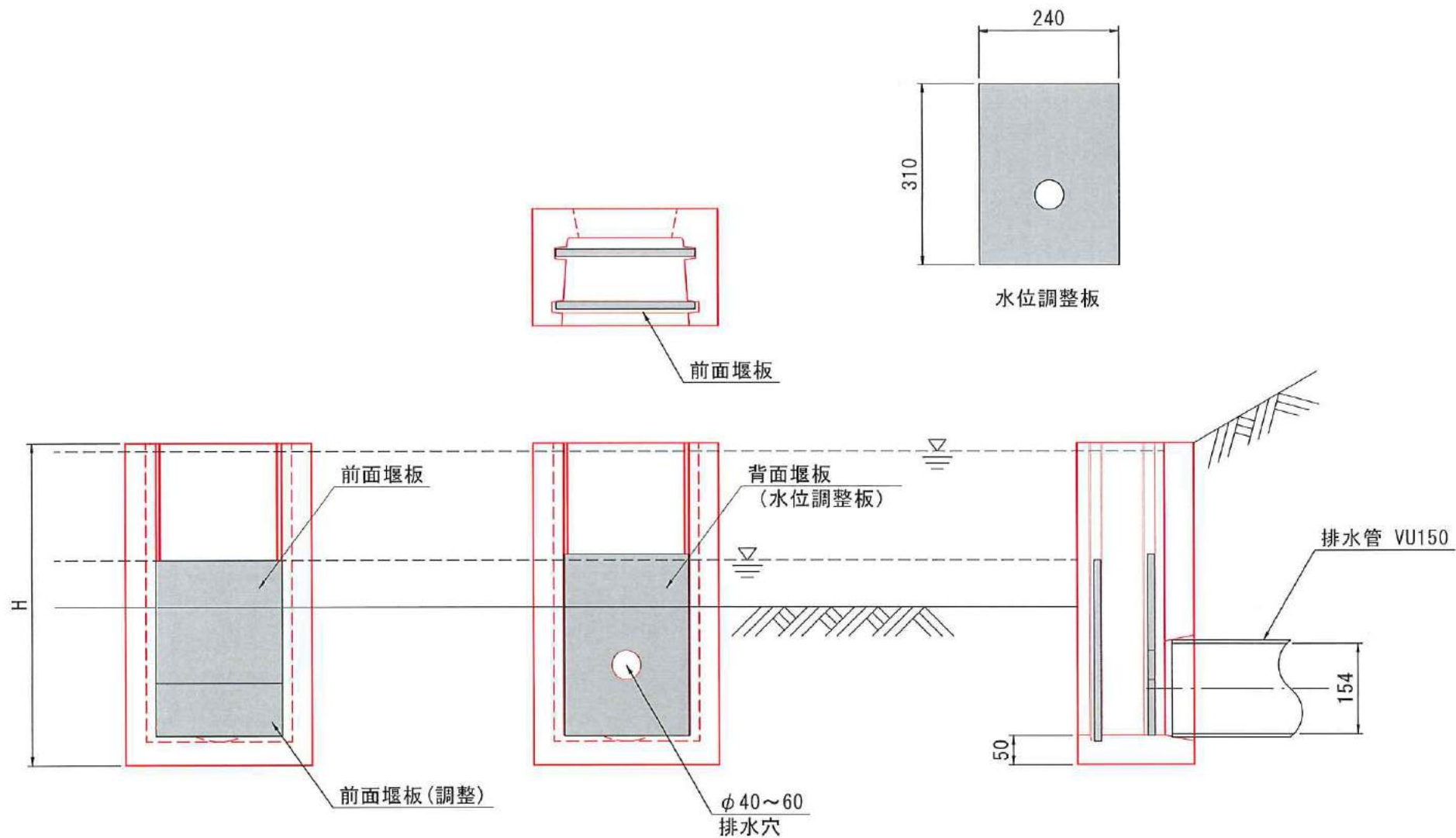


※堰板は、t=12mm 再生コンクリート型枠NFボード使用



前面堰板(h1)	調整板(h2)	h
160	0	200
185	0	225
160	50	250
185	50	275
160	100	300
185	100	325





※堰板は、t=12mm 再生コンクリート型枠NFボード使用

田区排水ブロック

320×200×H

排水量調整堰板取付型 (参考図)

株式会社 カモコン

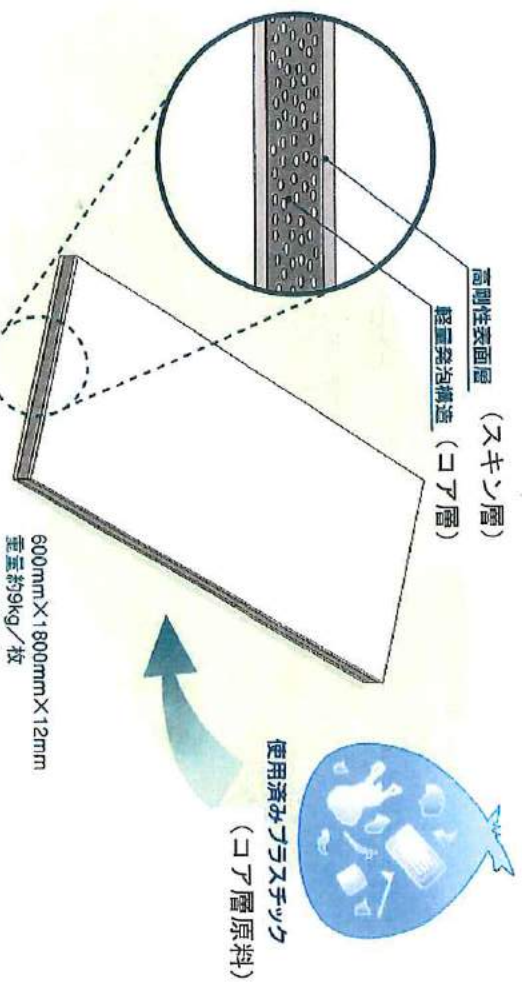
1. 審査証明技術

1. 1 技術の概要

本技術は、ポリエチレンとポリプロピレンを主成分とする軽量発泡層（コア層）と、その両面に配したポリプロピレン、無機系補強材及び着色剤を使用した高剛性表面層（スキン層）とで構成される、三層構造のコンクリート用再生型枠（NF ボード）の製造・施工システムである。

NF ボードは三層構造とすることで軽量化と強靭さを両立させており、建築物及び工作物のコンクリート用型枠工事に標準的な使用方法で用いられる場合は、在来工法で20 回程度の転用が可能である。

再生型枠として最も重要な回収・リサイクル体制に関しては、NF ボード販売会社である JFE プラリソース㈱が型枠工事業者から使用済み NF ボードを回収し、JFE グループが使用済み NF ボードを製鉄原料（還元材料）としてケミカルリサイクルすることとしている。
なお、回収される NF ボードは有価物として買い取ることとしている。



1. 2 適用範囲等

建築物及び工作物のコンクリート工事に用いる型枠

1. 3 NF ボードの材料構成及び性能

NF ボードの材料構成として、コア層には使用済プラスチックのフラク減容品（ポリエチレン及びポリプロピレン主成分とする混合物）を使用し、スキン層にはポリプロピレン、無機系補強材及び着色剤を使用している。

1) 製品の材料構成

構成	成分	使用比率	備考
軽量発泡層 (コア層)	使用済プラスチック (PE・PP 混合物)	70%	リサイクル原料
高剛性表面層 (スキン層)	(1) ポリプロピレン (2) 無機系補強材 (3) 着色剤	30%	



BCJ-審査証明-210

建設技術審査証明書 (建築技術)

技術名称：再生型枠「NFボード」

標記技術の内容について依頼者より提出された開発の趣旨及び開発の目標に基づき証明するものである。

(開発の趣旨)

従来より、コンクリート工事に用いる型枠は、一般にコストメリットのあるコンクリート用型枠合板を用いていた。しかし、比較的転用回数が少なく、使用後は産業廃棄物として処分しなければならぬ。

このため、合板と同様の施工性ならびに型枠材として一定の回数転用可能な基本性能を具備しつつ、原料に再生プラスチックを約70%使用すること、産業廃棄物の低減を目的とした使用済み製品の回収・リサイクル体制を確立することをもって、製品のライフサイクルを通じた環境配慮型の再生型枠「NFボード」を開発するに至った。

(開発の目標)

- (1) 施工時の荷重に対して安全性が確保されるための強度及び剛性を有し、かつ、コンクリートの品質等に悪影響を与えないこと。
- (2) 施工時の荷重に対して安全性が確保されるための設計方法及び施工方法が確立されていること。
- (3) 環境負荷の低減について配慮していること。

一般財団法人日本建築センターの建設技術審査証明事業 (建築技術) 業務規程及び建設技術審査証明事業 (建築技術) 業務約款に基づき、依頼のあった再生型枠「NFボード」の技術内容について下記のとおり証明する。

2013年9月26日
2018年7月17日 (更新)



建設技術審査証明協議会
一般財団法人日本建築センター
The Building Center of Japan

理事長

橋本

公博

記

1. 審査証明結果

本技術について、上記の開発の趣旨及び開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 施工時の荷重に対して安全性が確保されるための強度及び剛性を有し、かつ、コンクリートの品質等に悪影響を与えないものと判断される。
- (2) 施工時の荷重に対して安全性が確保されるための設計方法及び施工方法が確立されていると判断される。
- (3) 環境負荷の低減について配慮されているものと判断される。

2. 審査証明の前提

本審査証明は、依頼者から提出された資料等には事実と反する記載がなく、依頼者の責任において適正に設計・施工・品質管理等が行われることを前提に、依頼者から提出された資料に基づいて行われたものである。

3. 審査証明の範囲

審査証明は、依頼者より提出された開発の趣旨及び開発の目標に対して、設定された確認方法により確認した範囲とする。なお、個々の工事等の実施過程及び実施結果の適切性は審査証明の範囲に含まれない。

4. 審査証明の詳細 (別添)

この審査証明技術を個々の工事等へ適用する際は、別添内容に従うこと。
なお、本件は当財団「新建築技術認定事業」において認定 (認定番号: BCJ-AIBT-12 以下「既認定」という。) を受けたものと同様の技術であり、この建設技術審査証明事業 (建築技術) の対象技術として改めて確認し、審査証明するものである。開発目標 (3) 「環境負荷の低減について配慮されていること」については、既認定における評価項目と判断をそのまま採用した。

5. 審査証明の有効期限 2023年9月25日

6. 審査証明の依頼者

JFEエナジーソリューションズ株式会社

住所 神奈川県川崎市川崎区大江町5番地1